

2019年度 公民 1学期中間試験 模範解答

I	(1) エ	(2) ウ	(3) エ	(4) ウ	(5) ア	各2点		
II	A 貿易		B 国境		C グローバル化		D 輸入	
	E 安く		F 国際競争		G 国際分業		H 食の国際化	
	I 食料自給率		J 国際問題		K 格差		L 国際協力	
	M 多文化社会		各3点					
III	(1)	A コンピュータ		B インターネット		C 情報化		D 個人情報
		E 情報モラル		各2点				
	(2) 電子マネー				(3) クレジットカード			
	(4) コンピュータ と インターネット						各2点	
	(5) 情報を正しく活用する力。(情報を使いこなす力)							3点
	(6) ウ と エ		←完答で2点					
IV	(1) 人口ピラミッド			(2) 65 歳以上	(3) 合計特殊出生率			各3点
	(4) ア	(5) 少子高齢社会				(6) エ		
V	【採点基準】							
	◎ 文章全体で、①「少子化の問題点」、②「少子化の原因」、③「少子化を克服する対策」の3つの論点に触れていること。これらの3つの論点をすべて書くことができている場合のみ、6点以上とする。							
	① 「少子化の問題点」について触れている(次のうち、どれかを取り上げていること) … 各1点							
	㊦日本の人口減が続くようになる ㊦日本の経済力が低下する ㊦若い層の負担が増える ㊦地方の町が崩壊する							
	② 「少子化の原因」について触れている(次のうち、どれかを取り上げていること) … 各1点							
	㊦若者の未婚率が高い ㊦子育てに多額の資金がいる ㊦仕事と育児の両立が難しい ㊦労働環境が厳しい							
	㊦若者の所得が低い ㊦教育費が高い ㊦女性の社会進出が進んだ ㊦核家族化の進行 など							
	③ 「少子化を克服する対策」について、②であげた原因を克服する方法について自分の意見を書いている … 2点							
	◎ 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に対する、自分の意見を書いていること … 2点。							
	この論点は、女性の社会進出をどのように理解するかと深く関わっている。ただし、子どもの利益を無視して、親の利益だけを追求する考え方は許されないことに注意すること。							
	◎ 文章全体の論理が一貫していること(話の筋道が通っていて、現実的に成り立つこと) … 2点。							
	◎ ①②③の論点のうちの一部が欠ける文章は、最大でも5点とする。							
	◎ 前後の文章と論理的に成り立たない文章は、後の文章を加点しない。							
	◎ 10点満点とする。5つ以上の論点に触れる作文内容であっても10点を上限とする。							

第 学年 _____ 組 _____ 番 氏名 満点 太郎 _____

I 思考力・判断力	II 知識・理解	III 知識・理解	IV 資料活用技能	V 主体的に学ぶ態度	合 計
/10	/39	/23	/18	/10	/100